

島根県造形教育研究会主催 講演会



生きのびるために

みる&コミュニケーション

講師

福 のり子

(京都造形芸術大学教授)

2018 年

8月6日 (月)

13:00~15:30

(開場 12:30)



会場：島根県立美術館ホール

入場料：無料 (定員 190 名)

※事前の申込は必要ありません。

主催:島根県造形教育研究会 共催:Art Communication in Shimane あるみるの会

講演に関する問い合わせ先：出雲市立浜山中学校（春日美由紀） 0853-23-2717

正解なき時代に備えるために注目されている「美術頭」。NY発「対話型鑑賞」を日本に紹介し、自らの大学で教鞭をとりながら後進の育成に努めてきた福のり子が熱く語る。

教育界・美術界のみならず、経済界からも注目されているアートを介したコミュニケーション教育とは？AI時代を生きのびるために私たちにできることは何か？

▼講師プロフィール



福のり子

京都造形芸術大学 教授

アート・コミュニケーション研究センター 所長

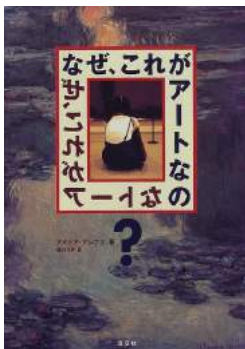
コロンビア大学大学院で美術教育学を学んだ後、ニューヨーク近代美術館 (MoMA) にて研修。90年代はじめよりインディペンデント・キュレーターとして活躍するとともに、作品と鑑賞者のコミュニケーションの重要性を唱えてきた。

2004年度より京都造形芸術大学にて、対話型鑑賞を体系的に学び実践する、日本の大学で唯一のカリキュラム「アート・コミュニケーション・プロジェクト (ACOP/エイコップ)」を展開。また、2009年には同大にアート・コミュニケーション研究センターを設立し、鑑賞者の育成および作品と鑑賞者をつなぐファシリテーターの養成を目的とした講座やワークショップを数多く開催する。

その他、主に現代写真の展覧会を日米およびヨーロッパにて多数企画している。

『なぜ、これがアートなの？』アメリア・アレナス著、『学力をのばす美術鑑賞』フィリップ・ヤノウィン著を翻訳出版。

▼推薦書籍



左)
『なぜ、これがアートなの？』
アメリア・アレナス著/
福のり子訳 (淡交社)

右)
『学力をのばす美術鑑賞』
フィリップ・ヤノウィン著/
京都造形芸術大学
アート・コミュニケーション
研究センター訳 (淡交社)



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL:0852-55-4700 FAX:0852-55-4714
<http://www.shimane-art-museum.jp>

